

Value At Risk

バリュー・アット・リスク

1997年9月25日

東京ヒルトンホテル

- ◆ マーケット・リスク評価／管理手法を
探り出す
- ◆ バリュー・アット・リスクの各業種での利用
法をケース・スタディーから学ぶ
- ◆ 財務運用におけるバリュー・アット・リスク
方法論の最近の傾向を考察する
- ◆ J. P. Morgan 社の Riskmetrics データ
ベース／方法論のすべてを紹介
- ◆ バリュー・アット・リスクを運用するための
ソフトウェアを検証する

主催:



協賛:

アドバンス・リスク・マネジメント・ソリューション

ARMS

ADVANCED RISK MANAGEMENT SOLUTIONS PTE LTD

バリュウ・アット・リスク

1997年9月25 東京ヒルトンホテル

マーケット・リスク回避のためのバリュウ・アット・リスク方法論の導入

1997年9月25日 東京ヒルトンホテル

9:00 ワーク・ショップ講師挨拶

ラルフ・イユミン・リュ

シンガポール・アドバンス・リスク・マネジメント・ソリューション (ARMS) 社を創設、現在専務取締役

シンガポール・ディナー・コミティー共同議長

シンガポール・ディナー・コミティー共同議長

ニューヨーク・国際金融専門家協会副会長

1. 金融リスクマネジメントの概念

リスクマネジメントの手法

マーケット・ボラティリティーにおけるリスクと変化の定義

バリュウ・アット・リスク革命

金融リスク管理のツール

リスクマネジメント向けシステム技術の開発

2. 財務リスク管理政策、手続

独立リスク管理部門、リスク・マネジャーの責任

報告体制、上級管理者の監督

金融商品リミット・スペシフィケーション

クレジット、マーケット、オペレーション、流動性、法務、

人的リスクの管理

3. 新しい規制環境

G30-デリバティブの実行、原理

1996年1月以降の国際決済銀行 (BIS) の資本充足規則

CAD - ヨーロッパ連合が利用する手法のあらまし

証券取引委員会 (SEC) のデリバティブ開示に対する提唱

国際金融市場におけるリスクマネジメントに対して、CAD規則

とBIS規則が及ぼす影響

アジア、特に、アジア金融市場に対して、BISが持つ意味

4. リスクマネジメントを理解するための基本的な金融

概念

ゼロ・カーブとディスカウント要因

Duration & Convexity

スワップ価格設定

オプション価格設定

ポートフォリオのデルタとガンマ

資本 (株式) ポートフォリオに対する株式ベクター

マーケットvs特定リスク

5. リスクマネジメントの先進的手法

ビルディング・ブロック・アプローチ

構造的デリバティブのアンパッキング

複合商品の創設

複合商品の逆処理

エキゾチック・オプション

バリュウ・アット・リスク処理の提案

6. リスクマネジメントの統計技術

予測収益、確率分布、統計的前提

予測と時系列分析

バリュー・アット・リスクにおけるボラティリティーと相関度の評価

加重移動平均 (EWMA)

Auto Regressive Conditional Heteroskedasticity (ARCHモデル)

Generalized Auto Regressive Conditional Heteroskedasticity (GARCHモデル)

マーケット・リスク所要資本に適用

7. ポートフォリオ・マネジメントの基礎理論とバリュー

・アット・リスクの持つ意味

効率的なポートフォリオ構築

CAPMとさや取り (スプレッド) 価格理論

リスク調整機能測定 (RAPM) 概念

リスク・キャピタルの代用物としてのバリュー・アット・リスク

ポートフォリオ機能測定におけるバリュー・アット・リスクの適用

バリュー・アット・リスクに依拠した資産配賦

RAROC概念

限定配賦に対するバリュー・アット・リスク

8. キャッシュフロー・マッピング

リスク統合とバリュー・アット・リスクの目標

シュレディングvsマッピング

キャッシュフロー・マップにおけるCardinality & Degree of Freedom

キャッシュフロー・マップにおける存続期間、バリュー・アット・リスク、NPV保存

9. 企業内リスクマネジメント (ERM)

企業のバリュー・アット・リスク利用法

部門別バリュー・アット・リスク

増加 (利益) バリュー・アット・リスクvs分離バリュー・アット・リスク

バリュー・アット・リスク・デルタ

バリュー・アット・リスク導入にあたっての経営問題

10. J.P. モーガン社のRiskMetrics

Datasetを利用してのバリュー・アット・リスクの計算

インターネットでデータセットをダウンロード

リスクポジションの確認

キャッシュフロー・マッピングのため、スプレッドシート追加機能とテンプレートを利用

バリュー・アット・リスク計算向け現行ソフトウェアの評価

バリュー・アット・リスク・デルタ - リアルタイム・リスクマネジメントの最新の概念

近年市場において債権売買を可能にする商品が注目を浴びている。今回のゲストスピーカーであります、JP Morgan社、マーケティングヴァイスプレジデント池田宗人氏に最新のリスク管理政策についてお話し頂きます。

11. 市場性のリスクに対する資本費用を計算するため、BIS標準方法論を適用

リスク・バスタ

リスクマネジメント・レポートの作成

12. バリュー・アット・リスクのケース・スタディ
内部モデルから計算するバリュー・アット・リスク・ベースの資本費用と、BIS標準方法論ベースの資本費用を比較
IM/SM比

金融界にとって、以上の事柄は将来どんな意味を持つか？

13. バリュー・アット・リスク・デリバティブ

バリュー・アット・リスク・スリップとはどんな概念か？

バリュー・アット・リスク・オプションとはどんな概念か？

統合リスクマネジメントの持つ意味は？

リスクマネジメント業界の将来の動向

議長紹介

ラルフ・イエミン・リュ

ウォートン・ビジネス・スクールにて MBA取得

アドバンス・リスク・マネジメント・

ソリューション (ARMS) 創設者・専務取締役。ARMS社は、財務・危険負担投資・財貨・資本市場・構造デリバティブの分野を専門とするアジア流のリスク・マネジメントおよびコンサルタン企業である。最近の金融リスクマネジメント・コンセプトをテーマに、アジア太平洋地域の主な銀行、為替・投資資金師、商業銀行、都市銀行、地方銀行、企業、その他の金融機関のコンサルティングに携わっている。

リスク・マネジメント分野で卓越したアドバイザーとしての確固たる地位を保持する存在であり、またARMS社の「リージョナル・ファイナンシャル・シリーズ」研修プログラムを通して、VaRデリバティブ、およびIM/SM比率という革新的なコンセプトをアジア市場に初めて導入した人物でもある。インターナショナル・アソシエーション・オブ・ファイナンシャル・エンジニア (IAFE) シンガポール・ディナー・コミティの共同議長を務め、「金融ジャーナル」など著名出版物多数に積極的に寄稿もしている。

リュ氏は、ウォール・ストリート・モルガン・スタンレーを皮切りとしてケミカル・バンク、AT&T、およびエクイタブル・ライフでキャリアを重ねた後アジアに戻り、シンガポールに本社を置くスイス組合銀行のFXオプションの組織とデリバティブ事業を確立させた。その後、香港チェイス・マンハッタン・アジア・リミテッドの専務取締役に就任、同社でFXと金利構造デリバティブの開発に従事した。